



災害等廃棄物処理事業費補助金の概要

環境省廃棄物対策課

補助金名		災害等廃棄物処理事業費補助金	
発生原因	災害起因	災害起因ではない	
対象事業	 <p>○災害のために実施した廃棄物の収集、運搬及び処分 ○海岸保全区域外の海岸に漂着した廃棄物(漂着ごみ) ○災害にともなって便槽に流入した汚水の収集、運搬及び処分 ○仮設便所、集団避難所等から排出された尿の収集、運搬及び処分 (災害救助法に基づく避難所の開設期間内に限る)</p>	 <p>海岸に漂着した廃棄物(漂着ごみ)</p>	
補助先	市町村(一部事務組合含む)		
要件	指定市:事業費80万円以上、市町村:事業費40万円以上 (○降雨:最大24時間雨量が80mm以上によるもの ○暴風:最大風速(10分間の平均風速)15m/sec以上によるもの ○波浪:最大風速15m/sec以上の暴風によるもの 等)	○1市町村(一部事務組合)における処理量が150m ³ 以上のもの ○海岸保全区域外の海岸への漂着 ○通常の管理を著しく怠り、異常に堆積させたものは除く 等	
予算案	19年度 1億円 (18年度 1億円)	19年度 1億円 (18年度 1億円)	

※災害に起因する漂着ごみ処理事業については、m3要件は無い。(何m3でも可)

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査業務概要



1. モデル調査地域選定の考え方

- ・外国からの漂着が多い、または確認されている地域(北日本及び西日本)
- ・漂着ゴミの処理、または運搬に支障がある離島
- ・二次災害が懸念される医療廃棄物の漂着が多い地域(日本海側)

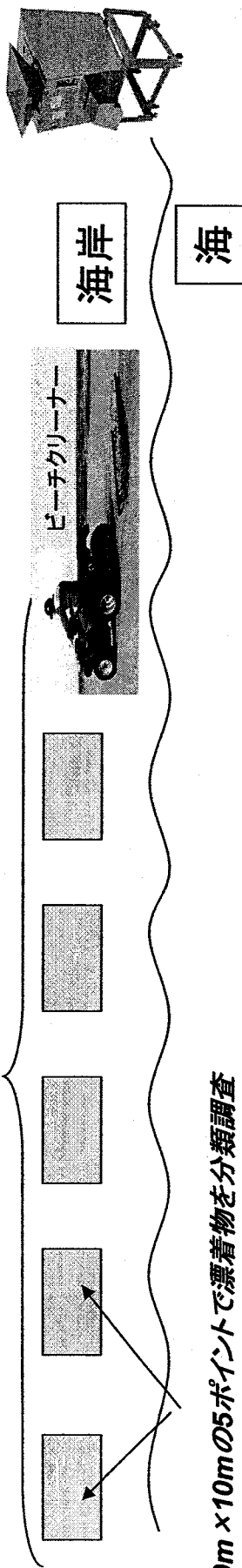
2. 概況調査イメージ:

自然的条件が同一と見なされる一連の海岸(例:海岸線が1つの場合は県単位、離島であれば全海岸)

3. クリーンアップ・フォローアップ調査イメージ: (1地域あたり2箇所:2年で6回のクリーンアップ)

海岸線5kmを目安にクリーンアップ

海岸線5km



10m x 10mの5ポイントで漂着物を分類調査

クリーンアップの効率的な技術の検討を行う(重機、ビーチクリーナー、破砕設備等導入の可否等の検討)

実際の執行にあたっては地理的条件によって柔軟に対応